

「この人 13」

鈴木 榮 68 歳 千葉県

八 木 滑稽俳句のことは？

鈴 木 角川の「俳句」に掲載の稲沢進一さんの句  
「焼酎の水割りばかり出世せず」  
に強く魅かれました。

稲沢さんの経歴に滑稽俳句協会とあり、ホームページを見て  
驚きましたね。

私も、それまでユーモアのある俳句をつくっては所属する  
結社の句会に出していたんです。

すると先生は「品位がない」とおっしゃる。

・ ・ 没になるんですよ。

名句をこのまま死なせてなるものか・ ・ と協会に入りました

八 木 滑稽の良さはどのように・ ・

鈴 木 人間にとって、笑いは貴重なものです。  
滑稽は「心のカス」を取り払う効果がありますね。

八 木 滑稽句づくりの秘訣を・ ・ ・

鈴 木 モノゴトを斜めから見ると自然に生れてきます。  
オモシロイ季語を見つけるの一方法です。  
最近では雪女郎を見つけて一句ものにしましたが・ ・

八 木 それでは代表句を・ ・

- ・ 青首も練馬も主役おでんかな
- ・ 酔ひ醒めて気づく禿頭冬帽子
- ・ 油照り犬の毛皮を脱がせたし
- ・ 尻たたき音を購ふ西瓜かな
- ・ 割り算の余りのごとく帰り花